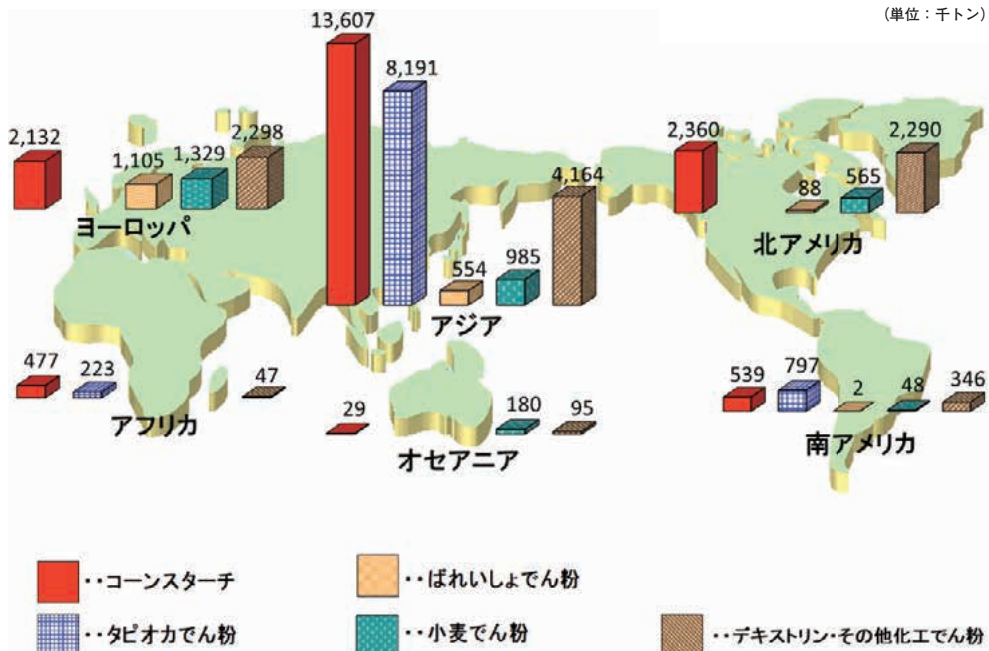


でん粉の国際需給

調査情報部 荒川 侑子

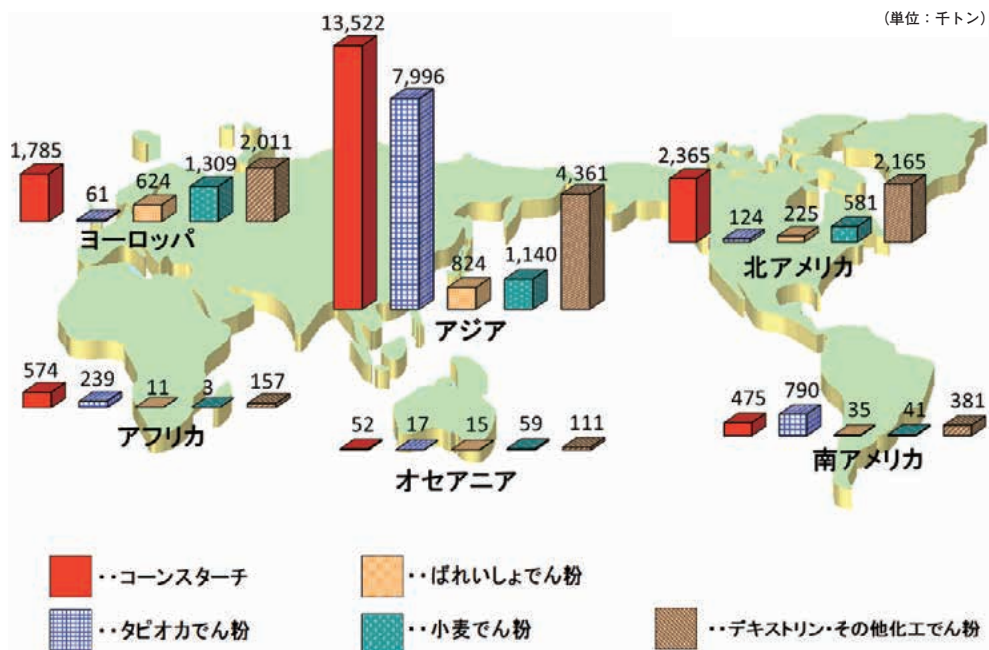
1. 世界のでん粉需給

図1 絵で見る世界のでん粉生産量（2019年）



資料：LMC International*「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 (*農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)
 注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量（2019年）



資料：LMC International「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 キャッサバ取引価格

年・月	タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2015年	2.16	6.78
2016年	1.52	5.66
2017年	1.40	5.14
2018年	2.38	6.85
2019年	1.89	6.30
2020年	1.80	6.52
2020年 8月	1.73	7.00
9	1.76	7.09
10	1.74	7.13
11	1.85	7.28
12	2.05	7.21
2021年 1月	2.03	6.64
2	2.07	6.80
3	2.13	7.06
4	2.08	7.09
5	1.92	7.09
6	1.91	7.31
7	1.97	7.52
8		7.53

資料：タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。

注2：タイ農業・農業協同組合銀行（BAAC）研究・イノベーション開発センターは、中国でタイ産キャッサバ製品の需要が高いことから、価格は引き続き上昇傾向で推移する可能性があるとして予測している。

2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2021年8月末日TTS相場^(注)の値であり、1米ドル=111円（110.90円）、1タイパーツ=3.46円、1ユーロ=131円（131.19円）である。

(注) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の月末TTS相場。

トウモロコシ・コーンスターチ

世界

【需給動向：トウモロコシ】

2021/22年度の世界のトウモロコシ生産量、前年度からかなりの程度増加する見込み

米国農務省世界農業観測ボード(USDA/WAOB)および米国農務省海外農業局(USDA/FAS)は2021年9月10日、2021/22年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した(表2)。

これによると、世界のトウモロコシ生産量は前月から1165万トン上方修正の11億9777万トン(前年度比7.2%増、前月比1.0%増)と見込まれている。国別に見ると、米国は作付面積の増加などにより625万トン、アルゼンチンは200万トン、中国は単収が過去5カ年平均を5%上回るなどにより500万トン、それぞれ上方修正された。

輸出量は、世界全体で2億127万トン(同12.1%

増、同1.7%増)と前月からわずかに上方修正された。国別に見ると、増産予測の米国が191万トン、アルゼンチンが200万トン、それぞれ上方修正された。

輸入量は、世界全体で1億8595万トン(同0.5%増、同0.7%増)と前月からわずかに上方修正された。国別に見ると、主要輸入国である中国は2600万トンと前月から変わらないものの、引き続き高水準での推移が見込まれている。

消費量は、世界全体で11億8662万トン(同4.4%増、同0.4%増)と前月からわずかに上方修正された。国別に見ると、増産予測の米国が191万トン上方修正された。

期末在庫は、生産量の上方修正などに伴い、前月から4.6%増の2億9763万トン(同3.9%増)と見込まれている。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し (2021年9月10日米国農務省公表)

(単位: 百万トン)

国名	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度		
			(8月予測)	(9月予測)	前年度比 (増減率)
米 国					
期首在庫	56.41	48.76	28.37	30.15	▲ 38.2%
生産量	345.96	360.25	374.68	380.93	5.7%
輸入量	1.06	0.64	0.64	0.64	0.0%
消費量	309.55	309.77	311.16	313.07	1.1%
輸出量	45.13	69.73	60.96	62.87	▲ 9.8%
期末在庫	48.76	30.15	31.56	35.77	18.6%
アルゼンチン					
期首在庫	2.37	3.62	1.92	2.12	▲ 41.4%
生産量	51.00	50.00	51.00	53.00	6.0%
輸入量	0.00	0.01	0.01	0.01	0.0%
消費量	13.50	14.00	14.50	14.50	3.6%
輸出量	36.25	37.50	36.00	38.00	1.3%
期末在庫	3.62	2.12	2.43	2.63	24.1%
ブラジル					
期首在庫	5.31	5.23	4.73	4.73	▲ 9.6%
生産量	102.00	86.00	118.00	118.00	37.2%
輸入量	1.65	3.50	1.70	1.70	▲ 51.4%
消費量	68.50	68.00	73.00	73.00	7.4%
輸出量	35.23	22.00	43.00	43.00	95.5%
期末在庫	5.23	4.73	8.43	8.43	78.2%
ウクライナ					
期首在庫	0.89	1.48	0.89	0.90	▲ 39.2%
生産量	35.89	30.30	39.00	39.00	28.7%
輸入量	0.03	0.02	0.02	0.02	0.0%
消費量	6.40	7.30	6.80	6.80	▲ 6.8%
輸出量	28.93	23.60	32.00	32.00	35.6%
期末在庫	1.48	0.90	1.11	1.11	23.3%
中 国					
期首在庫	210.18	200.53	198.18	202.19	0.8%
生産量	260.78	260.67	268.00	273.00	4.7%
輸入量	7.58	26.00	26.00	26.00	0.0%
消費量	278.00	285.00	294.00	294.00	3.2%
輸出量	0.01	0.01	0.02	0.02	2.0倍
期末在庫	200.53	202.19	198.16	207.17	2.5%
世界計					
期首在庫	322.60	306.09	280.75	286.48	▲ 6.4%
生産量	1,118.66	1,117.11	1,186.12	1,197.77	7.2%
輸入量	167.61	185.01	184.61	185.95	0.5%
消費量	1,135.17	1,136.70	1,182.24	1,186.62	4.4%
輸出量	172.40	179.59	197.85	201.27	12.1%
期末在庫	306.09	286.48	284.63	297.63	3.9%

資料: USDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates]

注: 各国の穀物年度 世界、米国: 9月~翌8月/ウクライナ、中国: 10月~翌9月/アルゼンチン、ブラジル: 3月~翌2月。

米 国

【需給、価格動向：トウモロコシ】

2021/22年度の米国トウモロコシ期末在庫率、9%台の見込み

USDA/WAOBは2021年9月10日、2021/22年度（9月～翌8月）の米国の主要農作物需給予測値を更新した。このうち、同国のトウモロコシ需給見通しは次の通りである（表3）。

生産量は、作付面積および単収がともにわずかに上方修正されたことから、149億9600万ブッシェル（3億8091万トン^{（注）}、前年度比5.7%増、前月比1.7%増）とわずかに上方修正された。前年度からやや増加する見込みであり、これまでの統計で最も生産量の多かった2016/17年度の151億4800万ブッシェル（3億8477万トン）に近い水準となっている。

消費量は、増産と生産者平均販売価格の下落予測を受けて、飼料など向けが前月から7500万ブッシェル上方修正されたため、全体では123億2500

万ブッシェル（3億1307万トン、同1.1%増、同0.6%増）とわずかに上方修正された。

輸出量は、増産を受けて前月から7500万ブッシェル上方修正されたものの、24億7500万ブッシェル（6287万トン、同9.8%減、同3.1%増）と依然として記録的な輸出量となった前年度からかなりの程度の減少が見込まれている。

期末在庫は、総供給量の増加幅が総消費量の増加幅を大きく超えると予測されたことを受けて、14億800万ブッシェル（3576万トン、同18.6%増、同13.4%増）と前月からかなり大きく上方修正された。その結果、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は9.5%（同1.6ポイント増、同1.0ポイント増）と前月の8%台の予測から回復し、改めて9%台となった。

また、生産者平均販売価格はやや下方修正され、1ブッシェル当たり5.45米ドル（605円。1キログラム当たり23.8円）と見込まれている。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラムとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2021年9月10日米国農務省公表）

区 分	－単位－	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度			
				(8月予測)	(9月予測)	参考(換算値)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	89.7	90.8	92.7	93.3	37.8(百万ヘクタール)	2.8%
収穫面積	(百万エーカー)	81.3	82.5	84.5	85.1	34.4(百万ヘクタール)	3.2%
単収	(ブッシェル/エーカー)	167.5	172.0	174.6	176.3	11.1(トン/ヘクタール)	2.5%
生産量	(百万ブッシェル)	13,620	14,182	14,750	14,996	380.91(百万トン)	5.7%
輸入量	(百万ブッシェル)	42	25	25	25	0.64(百万トン)	0.0%
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,221	1,919	1,117	1,187	30.15(百万トン)	▲38.1%
総供給量	(百万ブッシェル)	15,883	16,127	15,892	16,208	411.70(百万トン)	0.5%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,186	12,195	12,250	12,325	313.07(百万トン)	1.1%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,900	5,725	5,625	5,700	144.79(百万トン)	▲0.4%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,286	6,470	6,625	6,625	168.28(百万トン)	2.4%
うちエタノール向け	(百万ブッシェル)	4,857	5,035	5,200	5,200	132.09(百万トン)	3.3%
輸出量	(百万ブッシェル)	1,777	2,745	2,400	2,475	62.87(百万トン)	▲9.8%
総消費量	(百万ブッシェル)	13,963	14,940	14,650	14,800	375.93(百万トン)	▲0.9%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,919	1,187	1,242	1,408	35.76(百万トン)	18.6%
期末在庫率	(%)	13.7	7.9	8.5	9.5		1.6ポイント増
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.56	4.45	5.75	5.45	23.8(円/kg)	22.5%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は9月～翌8月。

注2：1エーカーは約0.4047ヘクタール。

【貿易動向：トウモロコシ】

6月の輸出量は前年同月から大幅に増加するも、前月より大幅に減少

2021年6月の米国のトウモロコシ輸出量は、635万4637トン（前年同月比25.2%増、前月比25.2%減）と前年同月から大幅に増加したものの、前月より大幅に減少した。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS^(注)）は、2020年9月以降、上昇基調を継続し、1トン当たり293.7米ドル（3万2601円、同73.1%高、同5.4%高）と前年同月からは大幅に、前月からはやや上昇し、過去1年の最安値（2020年8月）と比べ76.0%の上昇となった。

USDA/FASによると、2020/21年度（9月～翌8月）の米国のトウモロコシ輸出量は、中国をはじめとした海外からの需要が高まっていることや、ウクライナやブラジルなど競合国の輸出量が前年度と比較して減少傾向にあることなどから、記録的なものとされている。

(注) Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる（FOB価格から横持ち料〈倉庫間の移動費〉、積み込み料、保険料などを差し引いた）価格。

表4 米国のトウモロコシ輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	6,354,637	25.2%	▲25.2%
うち 中国 ^(注3)	2,750,477	10.1倍	▲19.3%
日本	1,426,335	24.6%	30.8%
メキシコ	1,327,374	▲3.8%	▲27.0%
コロンビア	160,830	▲57.8%	▲69.3%
カナダ	158,893	10.1%	▲13.8%
グアテマラ	78,521	3.2%	▲23.8%

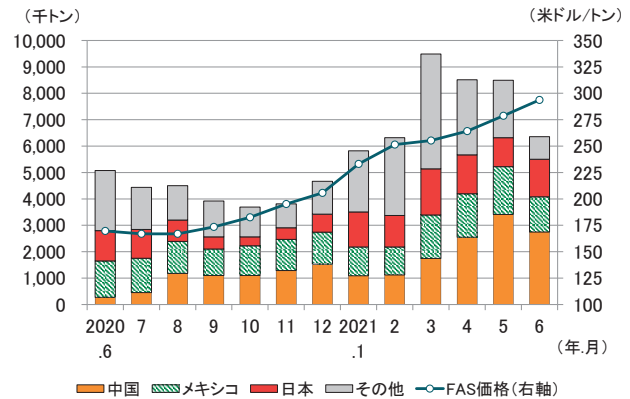
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：2020年以降は同国でアフリカ豚熱からの回復による豚飼養頭数の増加によって飼料需要が高まり、前年と比較して、大幅に増加している状況となっている。

(参考) 米国のトウモロコシの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

【貿易動向：コーンスターチ】

6月の輸出量は前年同月から大幅に増加するも、前月よりかなりの程度減少

2021年6月の米国のコーンスターチ輸出量は、1万5592トン（前年同月比64.9%増、前月比7.4%減）と前年同月から大幅に増加したものの、前月よりかなりの程度減少した。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FAS）は、1トン当たり632.4米ドル（7万196円、同9.2%安、同3.7%高）と前年同月からかなりの程度下落したものの、前月よりやや上昇した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	15,592	64.9%	▲7.4%
うち メキシコ	8,467	56.2%	▲27.7%
カナダ	5,769	2.2倍	55.9%
中国	190	6.1%	▲54.8%
豪州	169	▲17.6%	52.3%
英国	144	▲27.3%	71.4%
アイルランド	121	68.1%	—

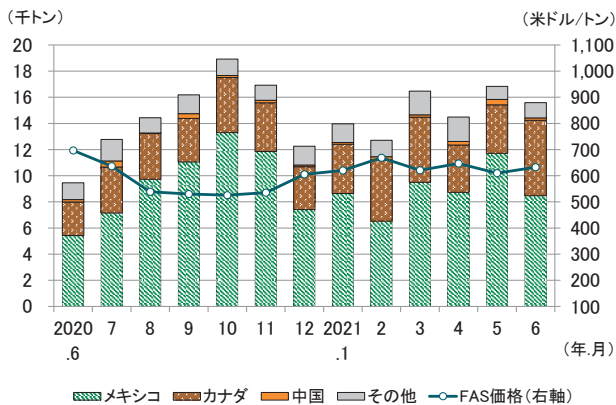
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。

(参考) 米国のコーンスターチの国別輸出货量および輸出価格の推移



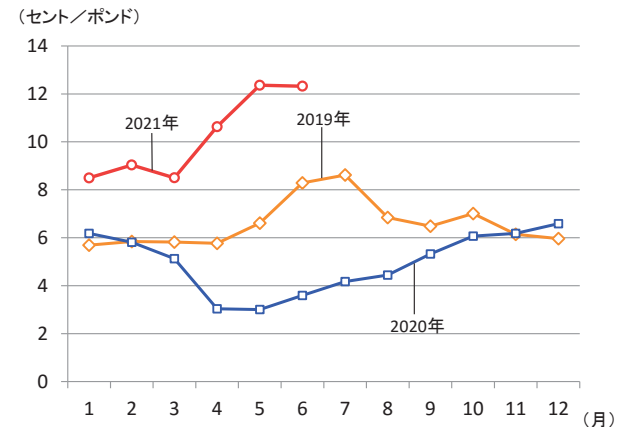
資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード1108.12
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出货量（累計）上位3カ国を表示。

なお、米国農務省経済調査局（USDA/ERS）によると、同国の代表的市場の一つである中西部市場における2021年6月の製粉業者の純費用は、トウモロコシ価格の上昇などを要因に1ポンド^(注)当たり12.32セント（13.7円、前年同月比3.4倍、前月

比0.3%安）と前年同月から大幅に上昇したものの、前月並みであった。

(注) 1ポンドは約0.45キログラム。

(参考) 米国中西部市場における製粉業者の純費用の推移



資料：USDA/ERS
 注：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

タピオカでん粉

タイ

【生産動向】

2020/21年度のキャッサバ生産量は前年度からかなりの程度増加する見込み

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）の2021年8月現在の予測によると、2020/21年度（10月～翌9月）のキャッサバの収穫面積は951万ライ

（152万ヘクタール^(注)、前年度比6.6%増、前月同）、単収は1ライ当たり3.33トン（同2.5%増、前月同）、生産量は3163万トン（同9.1%増、前月同）と7月予測と変更がなかった（表6）。

(注) 1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区分	一単位一	2018/19年度	2019/20年度 (推計値)	2020/21年度		
				(7月予測)	(8月予測)	前年度比 (増減率)
収穫面積	(万ライ)	867	892	951	951	6.6%
単収	(トン/ライ)	3.59	3.25	3.33	3.33	2.5%
生産量	(万トン)	3,108	2,900	3,163	3,163	9.1%

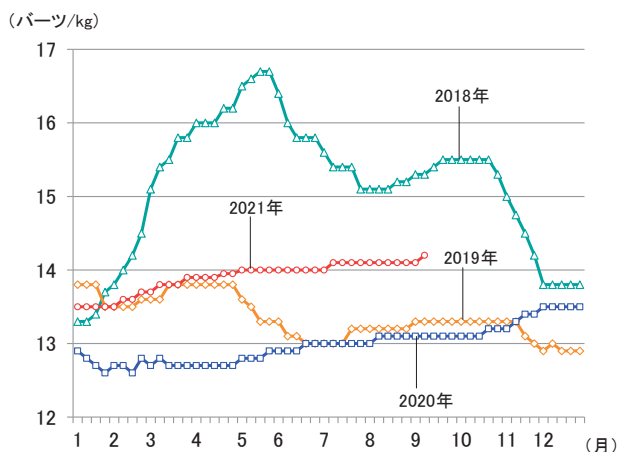
資料：OAE『農業経済2021年8月』
 注：年度は、10月～翌9月。

【価格動向】

国内価格、前年同期からかなりの程度上昇

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2021年9月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり14.2パーツ（49円、前年同期比8.4%高、前週比0.7%高）と前年同期からはかなりの程度、前週からはわずかに上昇した（図3）。2020年以降、価格は上昇傾向で推移している。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」
注：当該週の原則火曜日の価格。

【貿易動向】

7月の輸出量、前年同月から大幅に増加するも、前月よりやや減少

2021年7月のタピオカでん粉輸出量は、23万9177トン（前年同月比39.0%増、前月比4.5%減）と、前年同月から大幅に増加したものの、前月よりやや減少した。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり485.0米ドル（5万3835円、同9.0%高、前月同）と、前年同月からかなりの程度上昇した。

現地の調査会社などによると、中国でアフリカ豚熱からの回復による豚飼養頭数の増加と、飼料需要の高まりを背景に、コーンスターチの原料確保が難しくなっている状況を受けて、代替品としてタピオ

カでん粉の輸入が一部で見られるとしている。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量（7月）

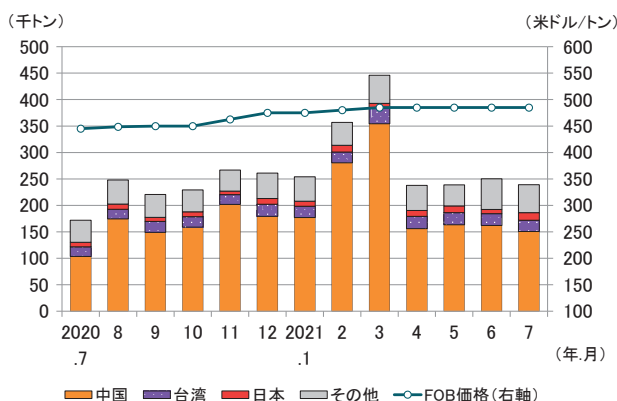
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	239,177	39.0%	▲4.5%
うち 中国	150,752	45.5%	▲7.0%
台湾	21,336	17.9%	▲4.0%
インドネシア	14,904	3.6倍	2.1倍
日本	14,339	65.7%	75.7%
米国	10,000	39.0%	▲39.9%
マレーシア	5,871	8.3%	▲34.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) タイのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：価格はバンコクのFOB価格。

ベトナム

【生産動向】

主産地のタイニン省でキャッサバモザイク病が拡大するも、被害は軽微

ベトナムの調査会社（AgroMonitor）によると、キャッサバモザイク病^(注1)の感染状況は依然として改善されず、7月27日現在、中央直轄5都市および58省のうち1市18省などの合計7万1758ヘクタール（6月21日比2.4%増）で感染が確認された^(注2)。このうち最も感染面積が広いのは、同国第2位のキャッサバ作付面積を誇るタイニン省であり、

2021/22年度（8月～翌7月）の作付面積が6万2000ヘクタールと推測される中、その56.0%に当たる3万4745ヘクタール以上が感染したとされているが、現時点では幸いなことに感染度合および被害は軽微であり、単収などへの影響もあまり見られていないとのことである。

(注1) ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最終的には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ただし、タイ農業協同組合省農業経済局(OAE)によると、同病害は一般的に作付け後1～4カ月の感染で収穫はほぼ不可能となるが、5～7カ月の場合は根茎の育成がある程度進んでいるため一定の収量を確保でき、8カ月以降であれば影響はほとんど確認されないとしている。ベトナムのほかに、近隣国のタイやカンボジアの一部で流行が確認されている。

(注2) 同国におけるキャッサバの作付面積は、近年、おおむね50万ヘクタール程度で推移している。

【貿易動向】

7月の輸出量は前年同月および前月から大幅に減少

AgroMonitorによると、2021年7月のタピオカでん粉輸出量は、11万8678トン（前年同月比31.4%減、前月比17.0%減）と前年同月および前月から大幅に減少した。同国の主要国別輸出量は、表8の通りである。

同月の輸出価格（CFR・中国向け）は、1トン当たり475米ドル（5万2725円、同24.3%高、同1.5%安）と、前年同月から大幅に上昇したものの、前月よりわずかに下落した。

2021年のタピオカでん粉の輸出量は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で製品の出荷に遅延が生じていることや、タイなどその他主産国との競合などにより、前年と比較して減少傾向にある。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（7月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	118,678	▲31.4%	▲17.0%
うち 中国	115,259	▲30.7%	▲16.5%
台湾	1,149	▲67.1%	▲44.5%
バングラデシュ	540	13.8倍	2.7倍
パキスタン	340	NA	▲31.0%
韓国	314	9.0倍	63.5%
シンガポール	243	3.3倍	▲25.9%

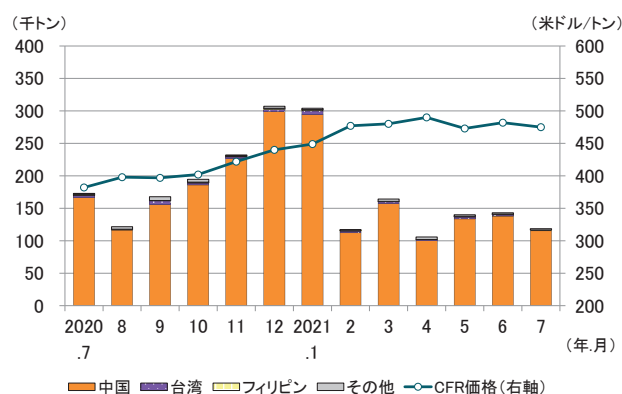
資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「NA」は事実不明なもの。

(参考) ベトナムのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR[®]価格。（※ Cost and Freight の略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い）

ばれいしょでん粉

E U

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月から大幅に、前月からはかなり大きく増加

2021年6月のばれいしょでん粉輸出量^(注)は、3万7664トン（前年同月比50.7%増、前月比11.7%増）と前年同月から大幅に、前月からはかなり大きく増加した。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり551ユーロ（7万2181円、同19.1%安、同4.3%高）と前年同月から大幅に下落したものの、前月よりやや上昇した。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出量（6月）

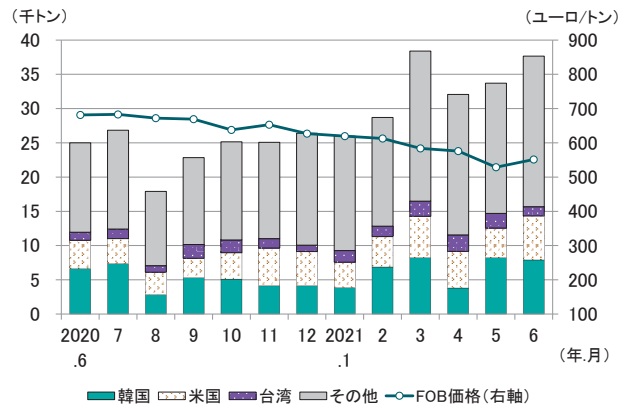
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	37,664	50.7%	11.7%
うち 韓国	7,890	18.9%	▲4.0%
米国	6,444	55.5%	48.7%
ペルー	2,343	2.4倍	44.2%
日本	1,735	57.7%	44.9%
英国	1,637	▲6.6%	2.2%
タイ	1,381	3.0倍	2.1%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) EUのばれいしょでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

コラム EU離脱後の英国のでん粉貿易動向

英国のでん粉は、主に同国産の小麦を原料としている。その他にはEU産のトウモロコシ、ばれいしょおよび小麦も使用しており、スターチヨーロッパ^(注1)によると、同国は毎年90万トンのでん粉原料をEUから輸入しているとされる。また、英国で生産されたでん粉製品の一部はEUへ再輸出されていることから、スターチヨーロッパは同国とEU間の円滑な取引を団体が要望する優先事項の一つとして掲げている。しかし、英国最大の公的統計機関である国家統計局（ONS）によると、2020～2021年初頭にかけては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大と、EU離脱（BREXIT）^(注2)に対する懸念などの影響により、同国とEU間の貿易は停滞し、2020年のでん粉の輸出入量は例年を大幅に下回った（コラムー表）。最も生産が盛んである小麦でん粉について見ると、同年の輸入量は5180トン（前年比91.1%減）、輸出量

は330トン（同86.7%減）とともに前年から大幅に減少し、コーンスターチやばれいしょでん粉についても同様に大幅な減少となった。

2021年5月には、英EU通商協力協定が正式に発効され、全品目で無関税および割当なしの継続が決定された。ただし、EUの無関税措置の対象となる製品は原産地規則が定められており、第3カ国由来の原材料を使用していないものに限られ、でん粉はこの規則の対象品目となっていることから、2021年の同国産でん粉の輸出入量の動向に注目が集まっている。

（注1）EUにおいてでん粉を製造する28社71工場を統括する団体。これらの企業でEUのでん粉の95%を生産する。

（注2）英国は2020年1月31日付でEUから離脱し、同年12月31日までの間は移行期間が設けられた。

コラムー表 英国のでん粉輸出入量の推移（対EU）

（単位：千トン）

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
小麦でん粉	輸入	60.87	65.24	68.27	58.37	5.18
	輸出	2.46	5.08	6.15	2.48	0.33
コーンスターチ	輸入	70.88	83.76	81.54	74.22	4.98
	輸出	1.50	1.42	1.71	1.85	0.15
ばれいしょでん粉	輸入	53.46	56.35	57.88	65.66	4.93
	輸出	1.14	0.51	0.60	0.96	0.04

資料：Eurostat

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国による主要仕向け先国別輸出入および輸出価格は以下の通りである。

タイ

【貿易動向】

7月の輸出量、前年同月からは大幅に、前月からはかなりの程度増加

2021年7月の化工でん粉の輸出量は、9万8758トン（前年同月比35.1%増、前月比9.3%増）と前年同月からは大幅に、前月からはかなりの程度増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出量（7月）

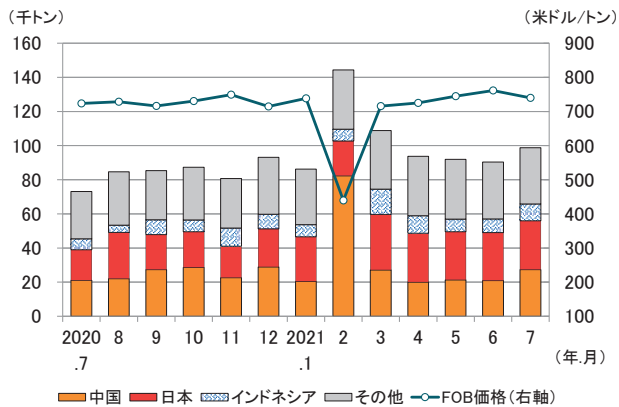
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	98,758	35.1%	9.3%
うち 日本	28,593	60.1%	1.8%
中国	27,367	29.4%	30.9%
インドネシア	9,861	53.7%	22.3%
韓国	5,792	11.4%	▲10.3%
米国	3,938	19.9%	35.0%
ベトナム	3,479	35.6%	23.5%

資料：「Global Trade Atlas」

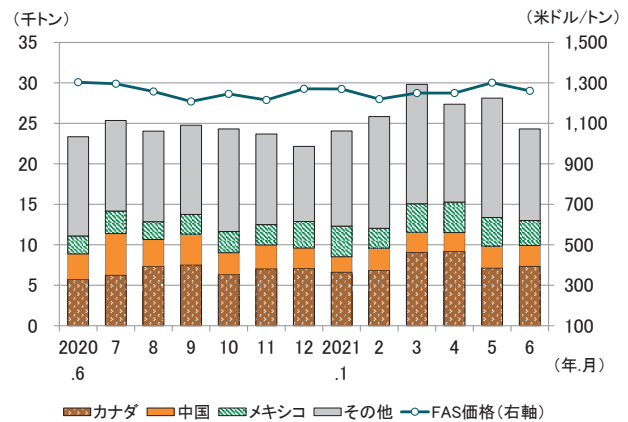
注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) タイの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



(参考) 米国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



米 国

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月からやや増加するも、前月よりかなり大きく減少

2021年6月の化工でん粉の輸出量は、2万4318トン(前年同月比4.2%増、前月比13.5%減)と前年同月からやや増加したものの、前月よりかなり大きく減少した。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出量(6月)

輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	24,318	4.2%	▲13.5%
うち カナダ	7,374	28.8%	3.4%
メキシコ	3,079	39.3%	▲12.9%
中国	2,554	▲19.1%	▲5.4%
インドネシア	957	▲4.6%	80.2%
ドイツ	894	▲17.9%	▲51.4%
韓国	832	▲8.8%	▲17.7%

資料: [Global Trade Atlas]
注1: HSコード3505.10
注2: 国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

中 国

【貿易動向】

7月の輸出量、前年同月からは大幅に、前月からはやや増加

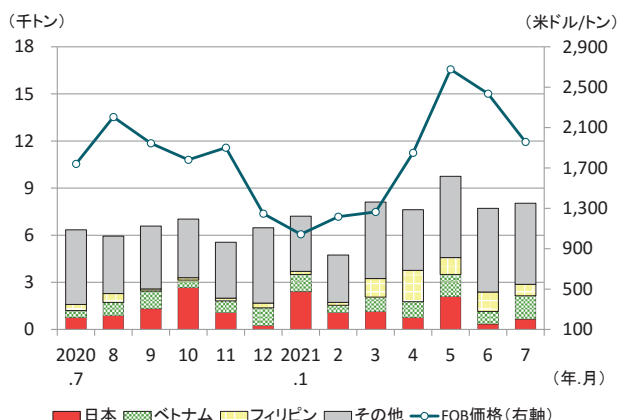
2021年7月の化工でん粉の輸出量は、8040トン(前年同月比26.8%増、前月比4.3%増)と前年同月からは大幅に、前月からはやや増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量(7月)

輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	8,040	26.8%	4.3%
うち ベトナム	1,482	3.4倍	84.8%
台湾	837	2.7倍	41.6%
フィリピン	733	86.0%	▲40.5%
日本	658	▲13.1%	90.7%
マレーシア	595	78.1%	21.7%
インドネシア	524	▲5.8%	▲13.4%

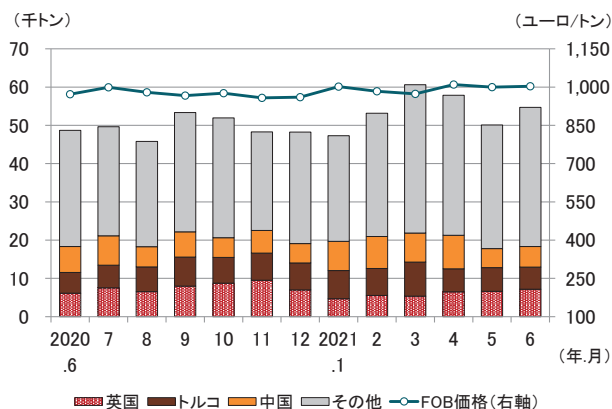
資料: [Global Trade Atlas]
注1: HSコード3505.10
注2: 国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 中国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

(参考) EUの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。
 注3：輸出先の不明なものを除く。

E U

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月からはかなり大きく、前月からはかなりの程度増加

2021年6月の化工でん粉の輸出量^(注)は、5万4684トン(前年同月比12.3%増、前月比9.1%増)と、前年同月からはかなり大きく、前月からはかなりの程度増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表13の通りである。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	54,684	12.3%	9.1%
うち 英国	7,191	17.2%	8.2%
ロシア	6,219	23.0%	3.4%
トルコ	5,778	6.9%	▲6.4%
中国	5,356	▲21.0%	7.8%
日本	3,955	63.0%	17.2%
米国	3,002	78.8%	36.3%

資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

豪 州

【貿易動向】

6月の輸出量、前年同月からは大幅に、前月からはやや増加

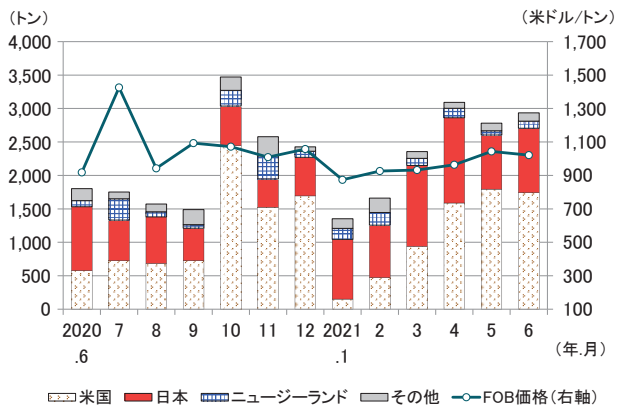
2021年6月の化工でん粉の輸出量は、2934トン(前年同月比62.8%増、前月比5.5%増)と前年同月からは大幅に、前月からはやや増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（6月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	2,934	62.8%	5.5%
うち 米国	1,742	3.0倍	▲3.0%
日本	962	0.6%	18.9%
ニュージーランド	108	20.0%	68.8%
台湾	54	0.0%	50.0%
南アフリカ	36	▲33.3%	▲50.0%
中国	18	-	-

資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード3505.10
 注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。
 注3：「-」は、輸出実績なし。

(参考) 豪州の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。